

第6回 葛城市地域公共交通活性化協議会 会議録

開催日時 平成27年2月27日（金） 午後1時

開催場所 葛城市當麻文化会館 2階 大研修室

欠席者 西本委員、葛本委員

傍聴者 2名

議事

1 開 会

2 会長挨拶

- 1月にアンケートの結果を出させていただきました。その後、長大さんに入っていてどういものが適切なのかということアンケートを基に今原案を練っているところです。
- 今日である程度の方針を出させていただいた上で、3月に皆さんにご報告をさせていただこうと思っております。
- 議論の中で市側の考え方もはさんでいながら、こういう方針でいかせていただきたい、こういう考え方は、ということはお話をさせていただきたいと思っております。
- その中で皆さんからご意見を頂戴して最終的に4月の頭にはそれで決めていき、その書類の作成に入って6月に申請をします。
- ほんとに駆け足でございますけれども、なんとかスケジュールに追いついてき始めているのかなと思いつながら今進まさせていただいているところでございます。
- しかし、サービスが低下してはいけませんので、それをどのような形で補完をしていくのか、出せるお金は限られているわけですから、その中でどうしていくのかということをしつかり議論させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

(事務局)

- 議事に入ります前に新たな委員のご紹介を申し上げます。
- 高田警察署として東 宏英 交通課長さまでございます。
- また、先日葛城市区長会にて役員改選があり、副会長の伏見さまが会長へ、井村さまは引き続き副会長として、最後に新たに葛本國雄様が副会長へ就任されました。本日は葛本さまは欠席ですが、ご紹介申し上げます。

(事務局)

○それでは、協議会規約の第9条第1項の規定によりまして、山下会長が会議の議長となりますので、議事進行、よろしく願いいたします。

3 協議案件

「(1) 前回協議会での意見により整理した資料について」

(議長)

○協議案件(1)「前回協議会での意見により整理した資料について」事務局より説明をお願いします。

(事務局)

○資料1-1、資料1-2について、株式会社長大さんの方から説明をさせていただきます。

(株式会社長大)

[資料1-1、資料1-2 説明]

(議長)

○ただいま、この前のアンケートの結果を踏まえた資料の整理の結果、1月に開催をしました本協議会でのご意見を踏まえた資料をお示しさせていただきました。

○何か、このことにつきましてのご意見等ございませんか。

(大庭委員)

○資料1-1の9ページと10ページについて、葛城市内と葛城市外と大きく2つに分かれているが、両方ともにオークワ大和高田店など共通する所があるが、これはどういう風に見たらよいのか。

(株式会社長大)

○元々のアンケートでは、葛城市内、葛城市外どちらに目的地がありますかと聞いており、その具体的な施設はどこですか、という風に聞いております。

(議長)

○アンケートに答えていただいた当人が市内の利用が多いと仰っているにも関わらず、市外の施設を書かれたりしている方がいらっしゃる。

○両方足したものが母数になるということ。

(株式会社長大)

○実際はそうなります。

○葛城市のすぐ近くにオークワ大和高田店さんやコープたかだ店さんがあ

るため、葛城市内と書かれている方もいらっしゃるのではないかと。

(議長)

○足した数、例えばオークワ大和高田店さんは172となり、けっこうな数になるということです。

(議長)

○これは基礎資料で、これを基にどういう風に考えるのか、ここから出てくる問題・課題というのが何であるかということを探る為の資料です。

「(2) 現状の公共交通に関する問題・課題について」

(議長)

○協議案件(2)「現状の公共交通に関する問題・課題について」事務局より説明をお願いします。

(事務局)

○資料2について、株式会社長大さんの方から説明をさせていただきます。

(株式会社長大)

[資料2 説明]

(議長)

○葛城市の住民ニーズと公共バスの mismatch がバスに乗らない大きな原因であったということです。

○元々、10年前に葛城市が合併した時にバスを走らせる主な目的は、新庄町、當麻町の両町の施設を利用するための施設間利用のためのバスでした。

○その時は、買い物ニーズに応えるとか、そういうことは考慮されなかった、してなかったわけではないが実際に走らせたバスのルートはそれを考慮せずに施設を利用するということを主な目的に考えたバス網の構築であったということです。

○今後、考えて欲しいのは生活に即したバス網の構築を考えてもらいたいということだと思います。

○その中で、高齢者、今後高齢者になる方の潜在的なニーズとして4割の方が今後利用したいと仰っているということ。

○有料化してでも、今年間2,000万円と奈良交通さんに走っていただいているのも2,000万円ほどで合わせて4,000万円ほどを行政が負担をしてバスを走らせているという状況になっておりますけれども、市民としても、いくばくかの負担をしながら継続的に走らせてほしいという要

望があるということがこの中で分かる、課題となっているということです。

(議長)

○ここには載っておらず抜けていたのかもしれないが、他市でもあるが、公共バスに観光利用をされようとした場合に、どういう料金の取り方、料金を取っているのか取っていないのか、どういう利用のされかたをしているのかということがあると思いますが。

○葛城市には當麻寺があったり、観光利用で今後増やしていきたいと思うニーズがあるんですが、長大さん、他の市町村においては、それはどうなんですか。

(株式会社長大)

○ケースバイケースで、無料のところもあったり、バス会社が運行されているところもある。市町村が運行されている場合は、一概には言えないが、例えば100円、200円や500円で1日回るなど。

○宇陀市さんにおいては、県さんがやられているが、無料で観光イベント限定で1日回すというのもあります。

(議長)

○イベントの時は無料というのはあると思うが、常時。

(伊藤委員代理)

○基本的には、市民の方と同じような利用料金。

○イベントであれば1日フリーパスなども設定は可能。

○利用促進というところで、観光面も含めたバスの活性化を図るという部分も課題の中に入れると良いのではないか。

○行政負担の抑制の中で、いかにしてバスに乗ってもらう・知ってもらうというその周知、乗りやすくするという意味で利用者利便を図りながら、利用促進を図った上で、皆さんがお金を払って乗ってもらう、その中の一つとして観光面の施策も入れれば良いのではないか。

(議長)

○それも3月までの課題に加えていただくとして、今の課題出しの中で足りない部分などありましたら。

○なければ、次に進みます。

「(3) 今後の方針について」

(議長)

○今後の方針、考え方としてこういう風に考えていこうというところに移ります。

○協議案件（3）「今後の方針について」事務局より説明をお願いします。
（事務局）

○資料3について、株式会社長大さんの方から説明をさせていただきます。
（株式会社長大）

[資料3 説明]

（議長）

- ここが一番重要なところであると思います。
- 当麻新庄線と葛城号は重複している区間が多いので、これはできれば統合していければという方針をもっておりますが、早い時間や遅い時間の通勤客に対してどう対応していくのかという課題も残っています。
- そこは自分たちで考えてもらう、通勤として使うのとは別でコミバスで考えていくんだという考え方でいくのか、この辺りは意見を聞かせていただきたいと思います。
- 有料化という問題があります。先程申し上げましたが、これは現在2,000万円、奈良交通さんに2,000万円の4,000万円ほどの経費を市が負担して運行させていただいておりますが、無料であるとそのままの負担となりますが、国土交通省や総務省の特別交付税で算入される分を考えると有料にしていく方が負担額が減っていくということがあります。
- 継続をして運行していくということを考えるのであれば一部ご負担をいただきながら、市の負担を少なくして長く運行していけるようにしていくということと、デマンド交通も含めて、デマンド交通も特別交付税の算入の対象になるものでございますが、これも含めて考えていきたいと思っております。
- 何か意見があればお願いします。

（吉川修委員）

- バスの有料化は賛成です。使われる方は確かに便利です。使われない方は、使われる方たちの税金を負担をしているわけですので有料化はすべきものだと思います。
- デマンドの話が出ましたが、デマンドにも色々あり、かなり市に負担が掛かってくる。隣の香芝市さんでやられているが、赤字になるのではないかと。

（議長）

- デマンドで6,000万円、公共バスで6,000万円の合わせて1億2,000万円ほど出しておられると。

○特別交付税の算入もあるでしょうから、負担は多いのは多いでしょうけれども。

(吉川修委員)

○香芝市は200円払えば乗合タクシーが乗れます。しかし、200円というのがものすごく安い。払う人にとっては楽であるが。その後の負担額が香芝市さんに請求する。仮に680円のメーターを倒すと1人200円とすると、一人しか乗らないとすると480円が香芝市さんの負担となる。

○そういうこともあるので、乗る人の負担額を上げる方がよいのではないか。

(議長)

○業界の方ですので、どれくらいまで上げたらよいのか。

(吉川修委員)

○バスと平等、半分くらい、400円くらいがよいのかなと。

(議長)

○三郷町さんはその負担が抑えられていると聞いていますが。

(吉川修委員)

○三郷町さんの場合は、町自体が小さくけっこう便利です。

○そういうのも含めて色々なところのことを聞いてほしい。

(議長)

○今回、デマンドについて相談、見積りを考えて下さいとお願いした時にできないとのことでしたが。

(吉川修委員)

○できないということではなく、漠然として言われたのでできないと言ったが。1メーターの所ばかり行くのと、仮に市外に出る場合はだめですよとか、そういう約束事がないことにはできないということ。

(議長)

○条件が設定されていないからできないということですね。担当者からきちんと説明を受けていなかったもので、申し訳ないです。

(議長)

○負担がどういう形であるならば、当初からタクシー協会の方からデマンド交通はどうか、という提案はいただいています。

○こういうやり方はどうかというご提案もいただけたらと思います。近々に。

(吉川修委員)

○王寺町さんが400円のチケットがあり、その400円に加えて、仮に680円の1メーターだったら280円をチケットと一緒に支払うという方法もある。

○三宅町さんも今度、それをやる。

(議長)

○チケットの場合だとなくなれば乗れないということになるのではないですか。

(吉川修委員)

○今、福祉チケット、タクシーチケットを市で出しているが、それとは違って、仮にですが70歳以上、75歳以上には何枚かのチケットを出しましょうとかそういう方法もとれると思います。

(議長)

○葛城市は公共交通として考えています。

(吉川修委員)

○公共交通の場所にいくらかの負担を掛けてやるということ。一度王寺町さんのを参考にしてみてもいい。

(吾妻委員)

○県タクシー協会でございます。いつもお世話になっております。

○デマンドについてご協議いただいて、ありがとうございます。

○タクシーの乗車割引については、特にこの協議会で諮るのではなく、市町村さんの懐具合でエリアなり対象を限定して出していく。

○デマンドについては、地域公共交通の中で空白地であったり少人数の所でどうしても駅に遠い、バス停に遠いところに高齢者が多いのでなんとかしなければ、他の所は公共交通が行っているというもののそこまでは行けなくて移動困難者を放置するという場合に、そんなことはしないですよということでデマンドタクシーでもって登録をしてもらって、あるいは場所を限定するようなどころもありますし、ある程度家の方までいくというのがあります。

○デマンドを考えるときには、既存のタクシーもありますので、それとの棲み分けを考えていただいて、必要最小限度でフォローできるようなものがあればデマンドを考えていただければよいのかなど。

○補助については、各市町村さんの懐具合でこれできるよというのであればしていただければ、特にこの協議会で諮ってもらうものではないと思います。

○ただ、デマンドについては諮っていただいて、運輸支局の方の申請も乗合許可ということで、実際問題はセダン方の車両は使っておりますが、

乗合ということでバス事業の類に入りますので、その辺はこの協議会で協議が整わないと許可が出ないということもある。

(議長)

- デマンドは必要であろうと思います。
- 負担感の問題、隅々まで行政のバスが行けるとは思わない、やはり決められたルートを通っていきますので、隅々まで回れない。
- しかし、山側やどうしても足が不自由な方であるとか、そういう方々に対してのデマンドというのにも需要があると思います。
- どのような形が一番いいのか、できたら色々詰めた形で相談に乗っていただければ幸いです。
- この協議会を開催した時にデマンドを考えて欲しいという話もあり、考えましょうという話ですが、一方的に条件を市に出せということだけではなく、そちらの方からこういうやり方の方がよいのではないかとというご提案をいただいた方がより歩み寄りやすいと思います。
- 株式会社長大さんはプロですが市の担当者は素人ですので分かりにくいと思いますので、その辺りを丁寧に詰めていただければと思います。

(議長)

- 料金を取ることにについて、現在、ゆうあいステーション行きのバスは無料で運行しているが、利用される方の多くがボランティアで行かれます。行って、ゆうあいステーションで、自分のいきがい対策でもあるのですが、ボランティアをされるという方々がけっこういらっしゃるもので、その方たちに対する減免をどのように扱うのか、そこが一つ大きな問題であります。
- お金を払ってボランティアをしに行くというのは、なかなか所得の少ない方々に対しての、難しいことだと思います。
- 仮に100円、往復200円払って、ボランティアで100円にも満たない介護バウチャーみたいな報酬があるのですが、ちょっとそれは違うのではと思います。
- この辺りの減免の仕方を考えていけないといけない。

(伊藤委員代理)

- 平群町さんのコミバスはどこまで乗っても均一です。そして、昨日、追加で月3,000円で乗り放題というのもあります。
- ボランティア行きの分もあり、かつそれ以外の分も乗れるといったものを毎月1日から月末までの2,000円なり3,000円なりのパスをお渡しするというのはどうか。

○そうすれば、自分が買い物に行くにも、病院も行け、ゆうあいステーションのボランティアもできるということが可能かどうか。

(議長)

○それはボランティアの方に町が負担をして渡しているのかどうか。

○またそれだと特別交付税の措置に問題はないのか。

(伊藤委員代理)

○それは自ら購入します。

○それは別の話で、経費には入らないので特別交付税の中には入れることはできないと思います。

(議長)

○0円にしてしまうと特別交付税が認められないとなるので。

(森口委員代理)

○特別交付税は市町村が負担している分に対して、有償が前提となります。

○市町村さんの負担軽減のメニューはうまく使えばありますので、それを検討する際には有償というのが限定、必要となってきます。

(議長)

○この辺りをどのようにすれば良いのかというのを知恵を出して考えていかなければ。

○市がその方々の分を負担するのか、どういう形にするのか。

○ICカードにすれば個人が特定されますので、その分を市が後から支払っていく形というの也被えられる。

(森口委員代理)

○デマンドの件についても移動困難者・高齢者の方に対して対応するという福祉施策的な意味もある。

○デマンドオンリーにしてしまうと、タクシー事業者に対し影響が非常に大きくなる、安いタクシーが単に走っているとなる。本来必要な時にタクシーが乗れなくなる。

(議長)

○限定をしてやった方が良いということですね。

(吉川修委員)

○デマンドでどんどん走っていったら仕事の死活問題となるので、それも考えてもらいたい。

○デマンドをすればかんでいくと思いますが、香芝市さんの場合はものすごい売り上げが減りました。

○本当は通勤に使ってはいけないみたいだが、時間的にうまく使う人もおられる。

○香芝市の場合、ものすごく細かく配置があり、ものすごく利用される方が多い。

○香芝市の場合、市内に駅が9つほどあり、だいたい2km以内に駅にいける。それであるのに、なぜデマンドを国が認めたのかと思う時もあります。やはり、不便な所にもっていくのが本来のやり方ではないか。

(議長)

○実際に声を聞かせていただいて、我々が検討していたのはその部分をあまり考慮に入っていなかったのだと思います。その辺りを踏まえてどうするのかを考えていかなければならない。限定をしていくのか、ある程度年齢で縛っていくのかなど、何か考え方を一つ、導入しないといけない。

(吉川修委員)

○学生にとっては駅まで行くのに非常に便利である。ほとんど学生の利用はないが。

(議長)

○たくさん売り上げが減っているとの事ですが、香芝市さんではどんな人が使っていますか。

(吉川修委員)

○年寄りの買い物であるとか。

(伊藤委員代理)

○営業時間が朝の8時から夜の6時まで。30分前の予約制で基本的にはお年寄りの方の買い物であるとか、通院であるとかの利用がある。

○三郷町さんも同じようなもので、三郷町さんと香芝市さんとの違いは、急な坂が多くなって、三郷町さんにはすごく適していると思います。ただ三郷町さんの場合は乗合バスの有効利用の活用もされているので、そのうまくコラボレーションされている。

○今回は、大量輸送が必要ですから葛城市においては基本的には路線バスで考えていただいて。

(議長)

○路線バスとデマンドのハイブリッドでいくということで、それの方が望ましいということですね。

○有償にしていくなれば例えばバスは1コインでタクシーはいくらにしようかということも含めて考えていく。

○タクシー業界の方々もある程度ご提案をしていただいて、我々も民業圧迫をしようという思いでやっているわけではありませんので。

○分からない所は議論のしようがないので、分かる様にだけお伝えをいた

だければと思います。

(森口委員代理)

- 今後の方針の所で、買い物に行きたいというアンケートが一番たくさんあったが、それを踏まえてという提案を示していただいています。今後の議論であると思うが、アンケート調査結果を見る限りでは、買い物に加えて通学、通勤があつて、高齢の方を考えると通院も無視できない。
- 買い物に限定してしまうのか、という部分が非常にこの地域の中では議論の一つのテーマになるのかなど。
- 当然ながらそれぞれの利用時間帯は変わってきます。通勤・通学は朝の時間帯、買い物であればお昼前・夕食前、通院であれば午前中の診療時間帯、それぞれの時間帯ごとに、どの時間帯にどういうルートで走らせるか。
- 今のニーズで、どこまでの範囲をバスでカバーしていくのか。カバーできない方をデマンドでと、組み合わせもあると思います。
- ニーズを捉えて、買い物にこだわらずに広く見ていけばよいのではないか。
- ルートの見直しも大切だが、時間帯、果たして今の時間帯がニーズ毎に適当なのかどうかということも考えていく必要があるのではないか。
- このような事を今後の方針に盛り込んではどうか。

(議長)

- 今後の方針として、今仰っていただいたことも踏まえて、ある程度芯のルートを作っていないといけない。
- バスを走らせる時間帯、これもどういう風にして決めていくのか。ニーズ、通勤・通学ニーズに応えるべきなのか、それともその他の利用、病院や買い物も含めて、それだけに限定していくものなのか、それをどういう風にして考えていくのか。
- 当然、人の確保の問題も出てくるだろうと思います。あまり早くから7時から走らせますとなれば、通常8時からだと1時間前倒しとなるとその準備からなにかからすると経費が1.5倍くらい掛かるかもしれないということも出てくる可能性があるので、このあたりをどのようにして、それをデマンドにするのか、いやバスで確保しながら、デマンドはデマンドで山手の地域、特に高齢者で限定をしていくんだというやり方をしていくのか、その辺りをしっかり考えていくということ。
- 福祉の還元の、ゆうあいステーション等に来られる方々への還元の仕方

- をどうしていくんだということ。
- 受益者負担、これもどうしていくんだということ。
 - このような事を今後のテーマにしながらか3月下旬を目指してスケジューリングしていきたいと思います。

(議長)

- タクシー業界の皆さんと長大さんや市担当者で、できるだけ早い時期に意見交換をして、タクシーの協会さんの方からの申し入れも受けながら、より良い方法を探っていきたいと思います。

(米田委員代理)

- コミュニティバスについて、今後、有償化に向けてという話がございまして、今あるバスを使って有償化をしていくのか、今だったら装備がございませぬ、また自家用バスでの有償化なのか、緑バスなのか。

(議長)

- もし有償にしていくのであれば全部バスを買い替えてということをお前提に考えています。ノンステップにしたり、料金を徴収する場合の設備であったり、そういうことも踏まえて考えていかなければならないと思っています。

(米田委員代理)

- デマンドタクシーがあるところについては、コミュニティバスは走らないということではよろしいでしょうか。エリアが重複して走るといった方向性となるのかどうか。

(議長)

- エリアというのはおそらく重複すると思います。
- 葛城市の場合、山側を通っている大きな山麓線(県道御所香芝線)とそこを東西に165号線、166号線、南北に24号線など大きな主要道路が少ないですから、そこをバスを通らせる、そうするとタクシーが走るエリアがなくなってしまうので、当然どこかでは重複はしてくると思います。

(傍聴者・中島氏、株式会社サンキュータクシー 専務取締役)

- 意見を述べる事ができるなら。

(議長)

- どうぞ。

(中島氏)

○いつもお世話になっております。

○途中からのお話しか聞いていない状況での発言で申し訳ないのですが、デマンドタクシーということですが、これは言葉は悪いですが、強制ということになるのかどうか。

(議長)

○一番最初の会合の中で、デマンドタクシーもどうですかという提案をタクシー協会さんの方からいただきました。

○住民に対するサービスを落とさないということを前提にやっています。市の負担をどうやって減らしていけるのかということも踏まえて、有償化をすると特別交付税で還元されるので、住民の皆さまから一部負担をいただきながら運行計画を立てていこうと。

○その中で、タクシー協会の皆さんからデマンドどうですか、これもやった方が住民サービスは落ちないですとご提案をいただき、なるほどということで検討をさせていただいた結果をここで発表させていただきました。

(中島氏)

○会社なので、利益がある程度ないといけないと思っています。

○デマンドどうですか、やっておられますかという意見は聞いたので、うちはやっていませんと回答した。

○どうですかと言われても実際に金額も分からない。

(議長)

○タクシー協会さんから提案があったので、香芝市さんや三郷町さんの例から自分の所がもし受ける場合だったら、こういうものだったらこれくらいの値段でいけますよという回答が出てくるのかなということを当然思っていたわけです。

○一回、一回、これをしてくださいと値段を出していただいていると、全部の会社に同じ条件を出さないといけなくなり、市の方も分からない状況の中で条件提示をしていかないといけないということもありますので、ある程度先発されているタクシー協会の中で、いくつか会社があると思いますので、その中の例を取りながら、こういうことは無理だけれども、このやり方だったらできる、このやり方でいくのだったら負担はいくらくらいですよというお話でしたら良いのかなと。

(中島氏)

○今聞いて分かりましたので、こちらで提案を、こういうのでこれくらいの金額でということをそちらに提案したら良いということですね。

(議長)

○この金額だったらここまでしかできませんよ、であるとか。

(中島氏)

○やり取りを、キャッチボールをしながら進めていくということですね。

(議長)

○もちろんタクシー業界を潰そうと思ってやっているわけでは決してないので、共存共栄できるように、やるんだったら、これくらいの方で考えてもらえませんか、ということです。

(中島氏)

○私たちも低くではできない。この金額は欲しいと言って、それをうまいこといけるかどうかと思います。

(議長)

○市としては安くと思っており、それは折り合いの問題。

(議長)

○香芝市さんのタクシーの確保の仕方がお金が掛かる仕方をされているような話を聞きます。

○5台なら5台、ずっと8時から17時、18時まで空で空けておいてくださいというやり方をたぶんされているのではないか。

○例えば、呼ばれない限りは、その中でも自分のところで営業はしてください、呼ばれた時に空いている車を何台か投入して下さい、というやり方で契約できるのかどうかなど。

○時間がそれほど残されていないので、できるだけ早く話を詰めてやっていかないといけない。

(吉川正委員)

○ずっと黙って話を聞いているが、タクシー協会さんと役所との話がどうも煮詰まっていない。もっと役所とタクシー協会さんと密接に話し合っ
て、この場に来てもらわないと。

(吉川修委員)

○最初はバス路線が赤字路線でなくなりますということで会議が始まったが、この課題というのはまだ半年ほどしか経っておらず、煮詰まる
ところまで話ができている。今日、話を聞かせてもらったので、事務局の方と話を
して次の会議の時に、こんなことでしたということは言えると思う。

(議長)

○本当に悠長なことは言ってもらえない。6月には国に提案をしていかない

といけない。それをまとめるのが4月の段階で書類を出していく、6月に許可をもらうということですから、3月いっぱい。よっぽど詰めて議論をしないといけない。

- このあたりは長大さん、大変だと思いますが、よろしくお願いします。
- ただ、全部が全部、オールOKということはできないですから、市もここは妥協します、でもタクシー業界さんもここまで妥協していただけないかというやり方でないと、お互い全部主張、角を突き合わせて全部できるかという、そうはならないと思いますので、協力し合える、可能な限り譲り合って、協力し合って目指していくということです。

(吉川正委員)

- 高齢者は買い物が一番多い。例えば一番多いのは万代北花内店、大きなバスは入っていけない、そうするとやっぱりタクシー業界さんとうまくコラボしながら、また入っていくとしたらスーパーさんとの話し合いもあると思います。

(議長)

- バス停の問題は出てくると思います。スーパーにバスがどこまで中に入って、中でバス停を公共バスとして作らせてもらえるのかどうか、その辺りも次のところの課題として出してもらわないといけない。
- 病院や駅は使用料を支払えば使わせてもらえるのではないかと思います、それ以外の民地に対してどういう形でアプローチできるのかを考えていかないといけない。

4 今後のスケジュールについて

(議長)

- 次に「今後のスケジュールについて」事務局より説明をお願いします。

(事務局)

[資料4 説明]

(議長)

- スケジュールですが、3月末にさせていただこうと思っておりましたが、タクシー協会さんとの調整なども含めていうと、時間をちょっとだけ先延ばしして4月の一週目か二週目にしようと思います。
- 今出てきた課題に全てに完璧に答えることはできないと思いますが、できるだけこの問題についてはこのように考えて、これとこれとこれの選択肢の中で何を取っていきます、というところまでいかないためですので、長大さんと事務局とで、次回皆さまにお示しできるようにしてまいりたいと思います。

(議長)

○審議の案件はこれで終わりですが、何か漏れ落ちていることやご意見ございませんか。

○なければ、これで第6回葛城市地域公共交通活性化協議会を閉会します。
ありがとうございました。